

## 研究に関するご協力のお願い

弘前大学では、福島県立医科大学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究に協力します。本学における剖検情報および組織標本の提供について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 4月

弘前大学大学院医学研究科法医学講座 高橋識志

### 研究課題名

側脳室前角上衣下損傷の発生要因を探索する前駆的研究（続編）

### 研究期間

2024年4月 ~ 2025年3月

### 研究の目的・意義

「鞭がしなう」ように頭部が前後に強く振られて生じる「びまん性軸索損傷」は、脳の軸索（神経線維）が広く損傷される重い「回転性脳損傷」です。事故や事件で頭部に受傷し亡くなった方の回転性脳損傷の診断は難しく、その検査法に改善が望まれていました。

研究責任者である福島県立医科大学医学部法医学講座・博士研究員黒田直人は、頭部が前後に強く振盪された後に死亡した人の脳を調べたところ、脳の中にある側脳室の前端部付近に特徴的な所見があることを突き止め、「側脳室前角上衣下損傷」と名付けました。この損傷所見はとても簡単に観察できるのですが、その診断的価値の研究はまだ充分になされていないため、さらに広く研究される必要があります。この研究については、2023年5月から7月にかけて、福島県立医科大学における剖検例を対象として先行研究が行われましたが、さらに正確な検討を要すると判断されたため、弘前大学大学院医学研究科法医学講座の過去の剖検例について対象として症例数を増やして検討することとしました。

本研究では、

側脳室前角上衣下損傷がみられない頭部外傷解剖例

側脳室前角上衣下損傷のみられた頭部外傷解剖例

の頭部の怪我の所見を比較することによって、側脳室前角上衣下損傷を生ずるメカニズムを検討し、国内外の死因究明医に側脳室前角上衣下損傷の診断への応用性について調査するよう、学会

や学術誌を通して広く呼びかけることを目的としています。

### 研究対象となる方

2007年1月から2014年6月までに国立大学法人弘前大学大学院医学研究科法医学講座および2014年7月から2022年9月までに福島県立医科大学医学部法医学講座で解剖されたご遺体のうち、次の条件を満たす方の脳組織標本および外傷所見を含む情報（いずれも鑑定・死因検査のために既に取得したものを）を対象とします。

側脳室前角上衣下損傷を伴う頭部外傷のみられた方

側脳室前角上衣下損傷を伴わない頭部外傷のみられた方

が対象です。

### 研究の方法

上記とについて、次の調査項目を比較することにより、側脳室前角上衣下損傷と各調査項目との関連性について検討します。

- 1) 年齢
- 2) 性別
- 3) 死因
- 4) 受傷部位
  - a) 顔面
  - b) 前頭部
  - c) 頭頂部
  - d) 左側頭部
  - e) 右側頭部
  - f) 後頭部
- 5) 頭蓋内出血
  - g) 急性硬膜外血腫
  - h) 急性硬膜下血腫
  - i) 慢性硬膜下血腫
  - j) 脳挫傷
  - k) 脳実質内血腫
  - l) くも膜下出血
- 6) 頭蓋骨骨折
  - m) 穹隆部線状骨折
  - n) 穹隆部陥没骨折

- o) 頭蓋底線状骨折
  - p) 頭蓋底飛び骨折
  - q) 顔面骨骨折
- 7) 頸椎損傷

#### 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学法医学講座であり、研究責任者は福島県立医科大学法医学講座 黒田直人です。本学は、既存試料および情報の提供のみ行います。提供された情報の管理者は福島県立医科大学学長の竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学法医学講座で利用し解析を行います。

#### 試料・情報の提供を開始する予定日

2024年7月10日（機関において提供が許可された日より後の日付を記入）

#### 試料・情報の提供について

試料・情報の提供先は福島県立医科大学医学部法医学講座です。試料・情報の提供を開始する予定日は2024年7月10日（提供許可日以降の予定日）です。試料は剖検・鑑定が終了したプレパレート標本で、情報は剖検に関する記録の記載内容です。情報提供においては、氏名等の個人の情報を削除し、個人の特定できない研究IDを付与した状態でUSB情報記録媒体（パスワードを入力しないと開くことが出来ないもの）に収録します。その際、後にオプアウトが可能となるように個人情報と研究IDとを対応させる「対応表」を作成し、本研究に係る試料・情報提供者である弘前大学大学院医学研究科法医学講座教授・高橋識志と、研究責任者である福島県立医科大学法医学講座博士研究員・黒田直人がそれぞれの機関の対応表のみを別々に保管します。

研究に使用した試料は、研究終了後速やかに弘前大学大学院医学研究科法医学講座に返却されます。

研究に使用した情報は、研究終了後10年間、個人情報を削除した状態で媒体に保存したものを福島県立医科大学法医学講座の施錠される保管庫に保管され、その後は読み出しが出来ないよう物理的に破砕して廃棄します。

試料および情報の研究事務局（福島県立医科大学）への移送は、書留小包郵便によって行います。

#### この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

本研究では、個人情報を排除した研究ですが、厳格に保管された氏名と試料・情報との対応表

2024年4月23日作成（第2版）

が作成されていますので、研究への参加を希望されない場合には、下記までご連絡ください。オプトアウトの手続きをし、対象をこの研究から除外致します。

但し、研究成果が医学雑誌等に公表された後は、対象者を除外することは不可能ですので、ご理解くださるようお願い致します。

そのほか、研究の内容についてのご質問等につきましては、誠意をもって対応させていただきます

研究内容に関する問い合わせ先（研究機関）

〒036-8562 青森県弘前市大字在府町5番地

国立大学法人弘前大学大学院医学研究科法医学講座 高橋識志

電話 0172-39-5048 ファクシミリ 0172-39-5050 e-mail : shirushi@hirosaki-u.ac.jp